

サステナビリティ経営の取り組み

サステナビリティへの取り組み



サステナビリティ基本方針

当社は、地球環境問題や社会課題に向き合い、全てのステークホルダーと信頼・協働関係を築き、社会に役立つ革新的な技術・製品やサービスを提供し続けることで、社会的価値と経済的価値を高めていくとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

基本方針

- 地球環境保全を志向した事業活動を通じて、環境負荷低減に貢献します
- すべての人権を尊重し、あらゆる人権侵害を排除します
- 社会的責任を果し、社会から信頼される持続可能なサプライチェーンを構築します
- ステークホルダーとの適切な協働関係を築き、誠実かつ公正な企業活動を実践します
- 安全を最優先とし、多様な人材が活躍できる職場環境を実現します
- 誠実かつ主体的に考働し、価値創造に挑戦する「人づくり」を推進します
- 経営の健全性・透明性を確保し、ガバナンス体制の実効性を高めます
- 経営環境に応じたリスク管理体制を構築し、新たな成長機会の創出に繋がります

サステナビリティ推進体制

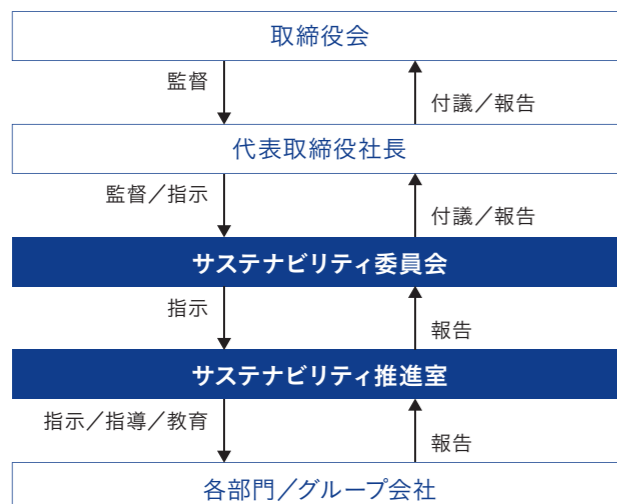
取締役会は、業務執行組織におけるサステナビリティ推進体制の整備・構築や中長期的なサステナビリティに関するマテリアリティなどを審議・監督する責任を有しており、取締役会の監督のもと、代表取締役社長を最高責任者とする業務執行組織における推進体制を構築しています。

当社はサステナビリティ基本方針に基づき、サステナビリティ活動の推進、徹底を図るため、「サステナビリティ委員会」と

「サステナビリティ推進室」を設置しました。

CSR担当執行役員を委員長とするサステナビリティ委員会は、サステナビリティに関するリスクおよび機会の識別・評価、マテリアリティの特定、指標・目標の策定などを行います。

サステナビリティ推進室は、取締役会やサステナビリティ委員会での審議結果などに基づき、グループ全体の活動を推進します。



サステナビリティ委員会の主な活動内容

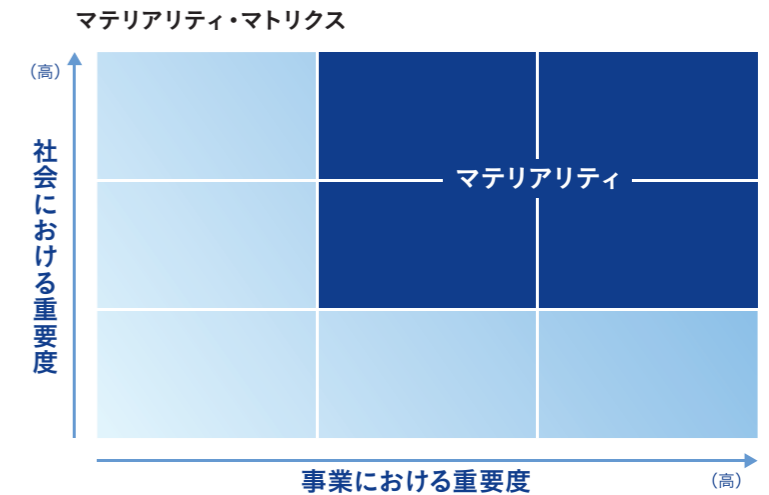
- ① サステナビリティ活動に関する重要事項の審議
- ② サステナビリティ活動状況のモニタリング
- ③ 社内外動向に基づく、取り組むべき事項の協議

サステナビリティ推進室の主な役割

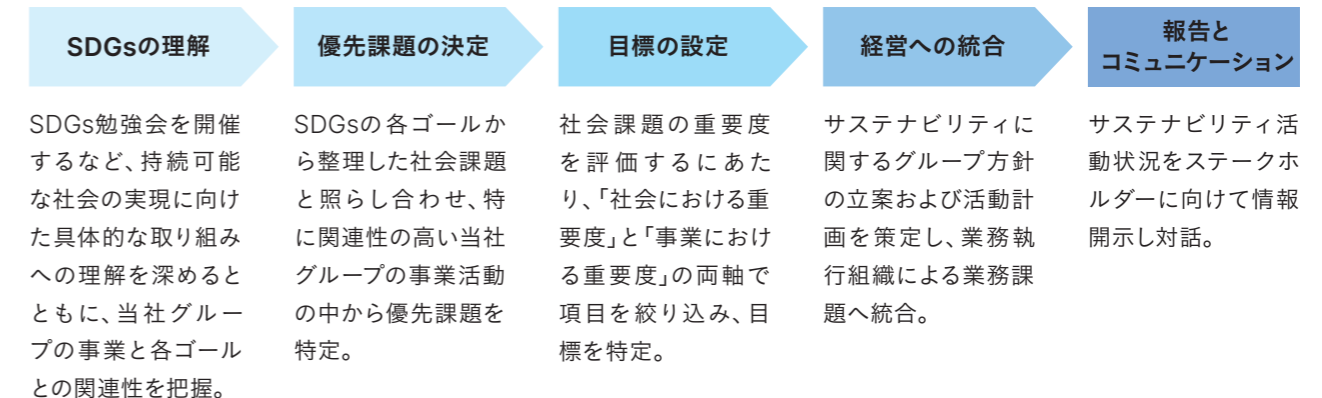
- ① 活動方針や重要規程、マテリアリティの立案
- ② サステナビリティ活動を周知、推進するためのルール整備
- ③ 活動状況のモニタリングの企画・実施、改善策の実施
- ④ 社内外の関連情報収集と発信

マテリアリティの特定に向けた取り組み

2022年度は、マテリアリティの特定に向けて執行役員を中心としたプロジェクトを設置して検討を行いました。SDG Compass (SDGs活動の手引書)を参考に、当社グループのこれまでの取り組みをもとに課題を抽出し、マテリアリティ・マトリクスを用いて、社会における重要度と事業における重要度を項目ごとに採点し、マテリアリティを特定しました。各マテリアリティについて、2030年度のあるべき姿や目標を設定し、バックキャストにより短中期的な指標(KPI)を検討しています。



マテリアリティの特定からサステナビリティ経営に向けた取り組み



マテリアリティ	今後の取り組み内容
環境 環境、社会に貢献する製品創出	非枯渇資源の活用、生産プロセスの改良などによる地球環境の保全と社会の持続的発展に貢献する製品の創出
環境 カーボンニュートラル達成に向けた活動	地球温暖化防止のために、生産工程での電力削減策や廃棄物の再利用などにより、省エネ・省資源への取り組みを推進
社会 サステナブルなサプライチェーン構築	持続的成長と社会的責任を果たすために「労働」「安全衛生」「環境保全」「管理の仕組」「倫理」に関する方針を明確にした「ガイドライン」をサプライヤーと共有
社会 安全、快適、健康で生き生きと働ける職場づくり	ダイバーシティの推進やワークライフバランスの実現に向け、多様な人材の採用・登用をはじめ、就業制度・サポート体制などの社内環境を整備
社会 次世代グループ人材の育成、確保	グローバル化がますます拡大する中でグループ全体の経営を担う人材を確保するための教育体系を整備
ガバナンス リスク管理強化	グループ全体のリスク管理体制を構築し、リスク管理状況を共有